

点鼻薬について

点鼻薬とは

鼻腔内の患部に直接作用させるために用いる薬剤です。

薬の形態 液体状になっていて鼻へ噴霧するもの。

パウダー（粉）状になったもの。

目薬のように滴下するもの。 があります。



種類

1. ステロイド点鼻薬

ステロイド特有の副作用が心配になりますが、点鼻薬として使用されるほとんどのステロイドはかなり少量であり、鼻粘膜での作用がほとんどなため安全性は高いです。

しかし、中にはステロイド量の多い点鼻薬を短期使用で処方する場合がありますので、使用期間・用量は医師の指示に従ってください。

2. 抗アレルギー薬の点鼻薬

鼻粘膜の過敏症を緩和するため、アレルギー性鼻炎に有効です。

内服薬でも使われる抗ヒスタミン薬などを、液状にして点鼻として利用しています。

他の点鼻薬や内服の治療に比べると即効性は低いいため、指示された回数・量を根気強く使用することが大切です。

3. 血管収縮剤（交感神経刺激薬）の点鼻薬

血管を収縮させることで粘膜の腫れをとり、鼻づまりに効果があります。

即効性がありますが、連用すると効き目が低下し症状が悪化する恐れがあります。

種類	特化していること	不向きなこと	当院で処方している薬
ステロイド (副腎皮質ホルモン剤)	抗炎症 アレルギー性鼻炎 血管運動性鼻炎	予防 即効性に乏しい	ナゾネックス／フルナーゼ エリザス／リノコート アラミスト／リンデロン など
抗アレルギー薬	アレルギー性鼻炎 アレルギー症状の予防	即効性に乏しい 鼻づまり症状の改善 薬の効き目が短い	ザジテン／リボスチン インタール など
血管収縮剤	鼻詰まり	くしゃみ・鼻水症状の改善	トラマゾリン など

保管・使用期限

指示がない場合は直射日光を避けて室温で保管してください。

冷所保存の場合は凍結を避けて冷蔵庫保管してください。

携帯する場合は、バックやカバンに入れて直射日光を避けてください。

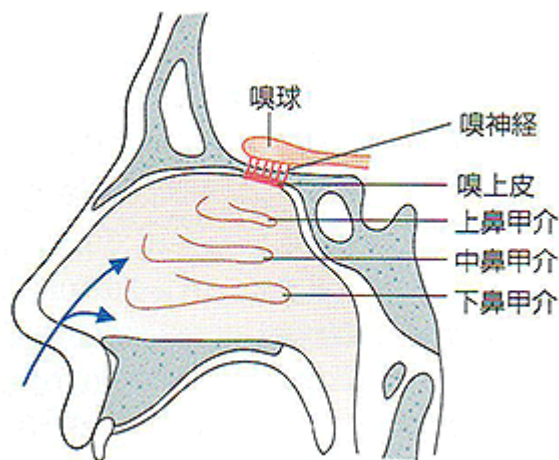
使用期限は容器本体に記載されていますが、これは未開封の場合の期日です。

開封後は一ヶ月が目安です。

点鼻薬の使い方

使い方には、点鼻して用いる方法（横向き・仰向け）と噴霧して用いる方法とがあります。

それぞれの方法による効果・目的の違い



横向きの場合

首への負担が少なく点鼻できる。薬剤が直接嗅上皮（ニオイの感知に携わる器官）に到達させられ、効果を出します。

懸垂頭位（仰向け）の場合

薬剤が直接嗅上皮（ニオイの感知に携わる器官）に到達させられ、効果を出します。

普通の仰向けの場合

上咽頭や耳管に薬剤を直接つけられる。

噴霧して使用する場合

鼻腔内の比較的手前側（下鼻甲介）に付着し効果を出すからです。

方法	横向きの場合	懸垂頭位（仰向け） の場合	普通の仰向け の場合	噴霧して使用する場合
①	鼻水が多い時は鼻をかんで、鼻腔の通りを良くしてください。			
②	手を洗います。			
③	平らなところで点鼻する方の鼻孔が上になるように <u>横向き</u> に寝てください。  (床) ※姿勢のイメージ	平らなところで肩に枕等を利用して点鼻する方の鼻孔が <u>真上</u> になるように、 <u>更にのけぞる</u> ように寝てください。	平らなところで点鼻する方の鼻孔が上になるように <u>仰向け</u> に寝てください。	点鼻薬の容器の先端を軽く鼻の中に入れ、片方の鼻孔を塞ぎ、鼻から息を吸い込みながら噴霧します。
④	側頭部を床につけ、少し上を向き、天井と壁の境目を見るようにします。	容器の先が鼻等に触れないように気をつけながら、両鼻孔内に点鼻液を各1～2滴垂らして下さい。		噴霧後しばらくは頭を後ろに傾け数秒間静かに鼻呼吸を繰り返し、薬剤を奥まで行き渡せます。 
⑤	容器の先が鼻等に触れないよう気をつけ、上の鼻孔内側に点鼻液を1～2滴垂らします。	そのままの姿勢で5分間じっとして薬液が行き渡るのを待ちます。		反対側も同様に行います。
⑥	そのままの姿勢で5分間じっとして薬液が行き渡るのを待ちます。	↓ 懸垂頭位の図 図18-17 嗅覚障害に対する点鼻療法 	↓ 普通の仰向けの図 	使用後は先端をティッシュなどでふき取ります。
⑦	反対側も同様に行います。			※専用噴霧器を用いて鼻腔内に噴霧する薬剤は <u>必ず説明書をよく読んでお使い下さい。</u>
	※鼻孔内の点鼻液がのどにまわり、不快な場合はうがいをして下さい。			